

化学療法（GCarbo療法）を受ける患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

項目	月日 入院日	月日 治療1日目	月日 治療2~7日目	月日 治療8日目	月日 治療9日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 化学療法にむけて、体の準備、心の準備ができる 発熱がない（38.0℃以上） 	<ul style="list-style-type: none"> 発熱がない（38℃以上） 点滴が入っている部分の痛み、吐き気、体調不良などの症状が出現した時、医療者に伝えることができる 			<ul style="list-style-type: none"> 異常を自覚した場合の対処法が言える
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ		<ul style="list-style-type: none"> 採血の結果で、異常がなければ点滴を開始します 朝、朝食前に体重を測りましょう(退院日まで行ってください) 始めて化学療法を行う場合は心電図モニターを装着します 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食後と昼食後に副作用を予防するためにステロイドの内服します 	<ul style="list-style-type: none"> 採血の結果で化学療法の点滴をします 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 入院時に採血があります 	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません 	<ul style="list-style-type: none"> 朝まで点滴があります 	<ul style="list-style-type: none"> 朝採血があります 	
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> 病棟内の移動に制限はありませんが、点滴開始後は、移動の際は点滴漏れを防ぐために、一時的に点滴を中断します トイレに行く時はナースコールを押して看護師にお伝え下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴が終了したら制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> 病棟内の移動に制限はありませんが、点滴開始後は、移動の際は点滴漏れを防ぐために、一時的に点滴を中断します トイレに行く時はナースコールを押して看護師にお伝え下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません
食事	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 食事の変更ができます お粥やパン食を希望される方はお申し出下さい 治療のため吐き気が出た場合は、病棟の食事を欠食にすることができます 	<ul style="list-style-type: none"> 食べられるものを好きな時に食べてください 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 入浴できます 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴している場合は点滴の部分を保護してシャワー浴ができます希望される方は看護師に声をかけて下さい 			<ul style="list-style-type: none"> 入浴できます
排泄		<ul style="list-style-type: none"> 尿量の測定をしてください、測定器の使い方の説明は看護師が行います 便秘や下痢の場合はご相談ください 尿の回数が多くて大変な時は管を入れることもあります 			
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活のオリエンテーションを行います 初めての治療の時には医師より説明があり、同意書を書いていただきます。看護師からも化学療法のオリエンテーションを行います。副作用の対処方法についても説明を行います 	<ul style="list-style-type: none"> 個人差もありますが、吐き気などの副作用症状が出る場合がありますので、異常を感じたらご相談ください 点滴が漏れた場合、点滴の種類によっては皮膚炎や壊死を起こすことがあります。 点滴が入っているところが痛い・赤い・腫れている・硬くなっている・点滴の機械の音が鳴るなどの場合はお知らせください 	<p>【退院後の注意事項について】</p> <p>〈抵抗力の低下について〉 抗がん剤を使用した後は、一時的に体の免疫反応が低下し、抵抗力が弱い状況にあるため、風邪を引きやすくなります。散歩などに行かれる時や売店などに行くときはマスクを着用し、うがいと手洗い、手指消毒を行なっていきましょう。かぜなどの症状を自覚した場合は、医療者にお知らせ下さい</p> <p>〈その他の副作用について〉 化学療法の副作用として、下記の症状が現れることがあります。症状を自覚した場合は医療者にご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蕁麻疹 ・息苦しさ ・体のだるさ ・脱毛 ・口内炎 ・手足のしびれ <p>〈食欲の低下について〉 食欲が低下したり、吐き気で食事がとれなくなる可能性があります。水分や食事が取れない場合は点滴で補う事ができますので、医療者にお知らせ下さい。また、高カロリーの食品を食事に追加したり、食事内容の変更ができますので、医療者にご相談ください</p>	<ul style="list-style-type: none"> 退院後初回再診日まで、ご不明、ご不安なことがありましたら、下記連絡先にお電話下さい <p>宮崎大学医学部附属病院 泌尿器科外来 0985-85-9317 泌尿器科病棟 0985-85-1898 総合予約室 0985-85-1225 ※時間外（17:00~8:00）は病棟に電話をおかけください</p>	

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです
諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください

宮崎大学医学部附属病院